



西会津小だより

5月号

No. 2

【教育目標】

めあてをもって、やりぬく
～みんなの学校、ちいきの学校、にしいづ小学校～

令和2年5月22(金)

文責：校長 博多弘泰

オンラインでの健康観察・授業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、西会津小学校は4月23日(木)から休校になりました。休校の間5・6年生は、オンラインによる朝の健康観察と授業を行いました。また、分散登校日には、登校した友達と一緒にモニターを使いながら授業を行いました。

初めは、「子どもの顔を見て、健康観察ができれば」という気持ちでしたが、先生方が、この短期間に、オンラインでのリアルタイムの授業の可能性を実感し、どんなことができるか試行錯誤を重ねました。

子どもたちにとっては画面越しであっても、いつもの教室、先生、友だちと会えることが何よりうれしかったと思います。また、健康観察の開始に合わせて規則正しい生活ができ、その後の自宅学習にも頑張ることができたと思います。

[分散登校日のオンライン授業]



[朝の健康観察]



[雨の中の登校]

学校再開にあたって

5月19日(火)から学校が再開しました。雨の中でしたが、子どもたちは元気いっぱいに登校しました。朝、子どもたちに学校再開について聞いてみると、「楽しみ」「早く友だちと会いたい」などの声をたくさん聞くことができ、この日を待ちわびていたようでした。

コロナウイルスの問題がなければ、1学期は73日の登校日でした。しかし、臨時休校期間が14日あったため、59日の授業日しか確保できない状況です。また、59日のうち

4月当初に前学年での未履修の学習を行ったために、実際は、59日より少ない状況になっています。今後、通常授業だけで教育課程(学習内容)をこなすことは困難な状況です。今、子どもたちが身につけなければならない学力を保障するためには、夏休みを短縮し授業時間を確保していく等の対応も検討する必要があります。

子どもたちにとって学校は、勉強するところであると同時に、人間として成長するところでもあります。人間としての成長は、集団の中で友だちと生活し、関わることでできるものであり、その意味で学校は大きな役割を担っています。今後、コロナウイルス問題が解消し、休校措置がないことを望むばかりです。

見守り隊の方へ”感謝”

[見守り隊の方と登校]

子どもたちが安心・安全に通学するにあたり、毎日、一緒に学校まで歩いてくださっている「見守り隊」という組織があります。雨の日も、風の日も、雪の日も子どもたちに寄り添い、励まししながら、安全を確保し、「地域の子どもたちのために」と活動していただいています。心より感謝申し上げます。子どもたちが毎朝、見守り隊の方へ感謝の気持ちを込めて、「おはようございます」と挨拶できるようにしていきたいと思います。

